

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふつちいふあみりい よつかいどう				公表日	R7年5月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	法令に準じたスペースの確保しております。	子どもたちが成長し、少し狭く感じる。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	賃貸物件なので改装は難しいがDIY等で工夫したい。	バリアフリー化されるといいと思う。玄関の段差が軽減されるといいと思う。	
	3 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		床などにものは置かれておらず、整頓されている。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		気持ちが乱れたときなど、クールダウンするために別部屋がある。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		活動などはカレンダーに記入されている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		各事業所では意見等があれば聞いてもらえている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	第三者委員会に適している人を探している。	外部評価をお願いする機会があるといい。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修を受講している職員もいる。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	毎朝の会議において職員には情報を共有できるようにしています	子ども個々に対してもう少し知ることができからいいと思う。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	保護者面談等を実施して計画を作成している。	保護者がどうあってほしいと思っているか知れるといいと思う。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員との情報共有。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		ソフト（ディラボ）を利用してLINEなどで確認する。	連絡帳で確認できるようになってい	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎日違う活動内容になっている。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別行動が多い子もたくさんいるが、集団でできるバラバラーンなどをやっている		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		何か変わったことがあれば報告を受けている		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふちいふあみりい よつかいどう			公表日	R7年5月15日
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	8	業務終了後に気づいたことがあれば共有している。		
	22	8			
	23	8	土曜・祝日は地域交流の機会がある。		
	24	8			
	25	8	おやつを食べるかどうかなどの選択やどのおもちゃで遊びたいか写真を貼り、自分で選べるようにしている。		
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	26	8			
	27	8			
	28	8	学校からのお手紙などを確認して下校時刻等しっかり確認できている。		
	29	8			
	30	8			
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	31	8			
	32	8			
	33	8			
	34	8	送迎時に各職員が保護者にお伝えしている。メールのやり取りなども行われている。		
	35	8			
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	36	8			
	37	8			
	38	8			
	39	8			
	40	8			
保護者への	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふちいふあみりい よつかいどう			公表日	R7年5月15日
説明等	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		ホームページ、SNSは本部にて運用されている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練等、行っている。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		保護者からその日の体調の変化や服薬について確認できている。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーの有無は事前に確認されて、見えるところに貼って確認できるようになっている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員の言葉遣いなど気にかけている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		チャイルドシートの許可など保護者に確認を取っている。保護者とその日の送迎の時などにやり取りできている。	